



第14号

平成27年3月1日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2

TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 秋山孝雄

印刷 株式会社丸井工文社

発行部数 3,000部

CONTENTS

同窓会会長挨拶	2
学校長挨拶	3
輝く松工生!! ～全国での活躍～	4
学校近況	5
新会員のことは／進路状況	6
同窓会だより	7
母校だより	8

福島県立二本松工業高等学校 同窓会 会報

校歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集る われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
真善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校

二 新しく 時はめぐりて
安達太良に 白き雲沸く
ここ榎戸の 台地より見る
あの高きこそ われらが理想
眉あげん ともに
はげまなん ともに
大いなる未来 ひたに望みて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校



■松工Eメールアドレス
school@nihonmatsu-th.fks.ed.jp

■松工ホームページアドレス
<http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp/>

同窓会会長挨拶



秋山 孝雄

プロフィール

昭和三十九年度機械科卒業
昭和四十年三月トヨタ自動車工業株式会社就職
昭和四十四年八月トヨタ自動車工業株式会社退職
昭和四十四年九月二本松市役所就職
平成十九年三月定年退職
平成十九年六月社団法人二本松法人会就職
平成二十三年五月退職
昭和六十年福島県野球連盟公認審判員 現在に至る
平成十六年五月松工野球部OB会設立 現在に至る
平成十九年七月行政書士資格取得 現在に至る

「希望」

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと昨年七月二十六日に開催された同窓会総会に於いて会長に選任されました。昭和三十九年度卒業機械科一期生の秋山孝雄と申します。微力ではありますが、皆様方のご指導・ご協力をいただきながら同窓会活動を進めてまいれる所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、技術者養成を目的として、

昭和三十七年度に開校してから早や五十三年が経過しております。昨年度までに約一万一千名の方が卒業して国内外で活躍していることを思うと誠に頼もしい限りで、大いに飛躍することを願っております。平成七年一月十七日午前五時四十六分に発生した阪神淡路大震災は今年で二十年。甚大な被害を受けた神戸市の中心部は被災してから約五年で復興の社会基盤整備が進み、震災の面影はほとんどみられない。復興公営住宅の退去期限が二十年と定められているが、入居者は高齢化

が進み、継続入居の問題が生じているという。

災害は、忘れたところにやってくるといわれるが、まさにその通りで、平成二十三年三月十一日午後二時四十六分に発生した東日本大震災の津波被害とそれに伴い、福島原発の水素爆発を誘発し放射能飛散という大惨事となりました。大勢の県民の皆さんが避難生活を余儀なくされ、五年目を迎える今年、今なお仮設住宅で避難生活を送っておられる方がおります。目に見えない放射能と闘いながら生活することは福島県民にとって苦痛であり、子供たちの将来が心配でなりません。

新聞報道等では、南海トラフ巨大地震が近々発生し、「津波火災」が首都圏から九州の二十一都道府県で発生する可能性があるという予測されております。

昨年の十二月三日、世界中の夢と希望を載せて「はやぶさ2」が宇宙に向けて飛び立ちました。約三億キロ離れた小惑星「1999 JU3」から試料が入ったカプセルを地球に持ち帰るという壮大な計画です。総飛行距離は五十二億キロ、六年の宇宙旅行から帰還するのは二〇二〇年、東京オリンピック開催の年になるそうです。この事業には、「はやぶさ2」の中核として技術を担った

県内の優秀企業等も参画しており、誠にもって頼もしい限りであります。

去る二月七日、平成十九年度卒の野地竜也君がプロ野球・BCリーグ「福島ホープス」に入団することに伴い、松工野球部OB会主催による入団祝賀・激励会を「ウェディングパレスかねすい」に於いて開催されました。松工から初めてのプロ野球選手誕生とあってOB会・保護者会・監督・同窓会等多くの出席者から激励や祝福の言葉があり、野地選手からは「ぜひ見に来てほしい。活躍して、応援してもらええる選手になる」と力強い決意表明がありました。開幕戦（四月十一日）には皆さん挙って応援に行きましょう。

間もなく年度末を迎え異動の季節を迎えますが、入学・進学・就職とちよつぱり不安を抱えながらも大きな「目標」をもち、それに向かって一歩一歩踏み出そうではありませんか。



学 校 長 挨 拶



木田 英男

プロフィール

いわき市生まれの浜育ち、専門教科工業（電気）、趣味写真・釣り、会社員を経て郡山北工、勿来工、平工、いわき養護、塙工高に勤務し平成二十五年四月本校に着任、現在に至る。

「先輩からのエール」

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。卒業式も第五十一回を迎えることができました。また、全国大会出場に際しましては激励金や励ましの言葉など物心両面でご支援をいただき、生徒、職員共々、心より感謝しております。

今年度の同窓会総会において佐藤忠司会長が退任され、新しく会長に秋山孝雄様が就任されました。本校同窓会は佐藤忠司会長を中心に、本校の発展に寄与されてこられました。佐藤会長は平成二十年度に就任され六年間の長きにわたり務められ、その間、東日本大震災における

危機を乗り越え、五十周年記念事業などの大事業を成し遂げ、本校の教育環境の維持・向上にご尽力を頂きました。心より感謝を申し上げます。新たに今年度より、秋山様が会長に就任され、五十年の節目から、新たな一歩を踏み出すことができました。厚く御礼申し上げます。

卒業生も一万一千百余名を超えることとなり、卒業式は第五十一回を数えるに至り、五十年の節目から新たなスタートを切りました。今年度の卒業生は、少子化に伴う学級減以前の最後の卒業生となりました。本校教育においても時代の流れを見据えた変化・進化が要求されてまいります。教育課程や各科のコース制見直しなど、一つ一つ着実に進化するよう試みております。

昨年十一月には震災復興記念講演と題し、土木科（都市システム科）誕生五十年にちなみ、土木の日（十一月十八日）に第十六期生の橋本秀樹様のご尽力により、広島カープで活躍された高橋慶彦氏による記念講演＆生徒達とのトークショーが行われました。高橋氏とのトークショーはとて活発に行われ、いろいろなエピソードをはじめ、生徒達からの質問などに答えながらのアドバイスなど、生徒達も自信を付け、将来をしっかりと考える一助となるすばらしいものとなりました。

同窓生の皆様には多くの行事・事業などに支援を頂いております。専門高校プロジェクト事業や課題研究、職場体験等においては、企業、大学、二本松市などの協力をいただき、小学生夏休み理科教室、各企業における職場体験・インターンシップ、橋梁維持管理に関する研究、旋盤、溶接技術の実習・検定・大会など、様々な場面で直接・間接的に同窓生の応援・ご支援を頂いております。先輩からのアドバイスやご支援は、生徒達も松工の歴史を実感しながら学ぶことができ、とても実の入ったものとなっているようです。良き伝統の伝承としてあげられるのが、資格取得です。松工マイスターと称し、全国校長会で認定されているマイスター制度を本校独自に設定し、それに向けて生徒一人一人が目標を立て、資格取得にチャレンジしています。難関資格の第一種電気工

事士試験では、十七名合格することができ、九年連続二桁合格に更に拍車をかけることができました。また、機械システム科では、二級旋盤技能士資格に合格するという快挙を成し遂げ、誇らしい結果を残してくれました。それぞれ試験の数ヶ月前から、放課後や休日にも勉強や技能の獲得に励んだ結果です。指導する先生の熱意と、合格に対する生徒の情熱が好成績を収めています。

部活動でも上位大会を目指し盛んに活動しています。カヌー競技では、国体優勝という実績を上げることができ、将来はオリンピックも夢ではないかと思われる頑張りようでした。他の部活動も活躍し、県大会出場を勝ち取り頑張っております。また、高校生ものづくりコンテスト東北大会に、都市システム科より測量部門に出場し入賞を果たすことができました。さらに、コンピユータ同好会による全国プログラミングコンテストは昨年引き続き五位入賞、ロボット相撲東北大会、ロボット競技大会、MCCR（マイコンカーラリー）大会、溶接技術競技大会など、技術を競う工業科特有の大会に向け、同窓生の皆様の支援や生徒と先生が一つになり頑張る実績を積み上げております。

これからも同窓生、先輩のエールにこたえるべく、生徒・職員一丸となつて努力してまいります。同窓生の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

輝く松工生!!

（全国での活躍）

十月に長崎県で行われた第六十九回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」のカヌー競技において、野地裕太（機械システム科三年二組）がカヤックシングル五〇〇メートルにおいて、見事優勝し全国の舞台で頂点に輝きました。

また、昨年設立されたコンピュータ同好会が第三十五回全国高校生プログラミングコンテストに二年連続出場し、第五位に入賞するなど松工生が全国という大舞台で活躍しています。



『国体優勝』

カヌー部 野地 裕太

「発艇一分前」五百メートル決勝のレースが一分後にスタートするというコールが響きました。普段なら緊張が最大になる場面だが、この時は違いました。それはこのレースが最後の五百メートルだからです。私は中学生の頃からカヌー競技を行っているので、今年で六年目になります。この六年間で何度か全国大会に出場しましたが、ずっと目標にしていた全国優勝は果たせずにいました。今年の八月に行われたインターハイでも四位という結果でした。最後のチャンスをもにするために、大会前は東北の選手と一緒に合宿を行ってきました。大会では台風の影響で日程が変更になるというアクシデントがありました。が、トレーナーの方や他の選手と最高のパフォーマンスができるよう調整を行いました。そして、今までの努力を発揮する時がやってきました。六年間積み重ねてきた練習は

自信に変わり、緊張しすぎることなくスタートを迎えられました。スタート直後、周りより出遅れてしまいましたが、私はラストスパートに自信があったため、焦ることなく自分のレースを繰り広げることができました。そして、ラスト二百メートルで一気にスパートをかけました。僅差だったためゴールしてすぐには順位がはつきりしませんでした。勝っている自信はありません。トレーナーの方に優勝を告げられた時は思わず叫んでしまいました。六年間でようやく掴んだ優勝でした。

これまで支えて下さった両親や先生方、先輩方、日頃応援してくれる皆様、そして、一緒に練習してきた仲間に向けて感謝申し上げます。なかなかできない経験ができたので、これを生かしてこれからの生活を送っていききたいと思います。

平成24～26年度 年間資格・検定試験取得数

平成27年2月5日現在

国 家 資 格					検 定 試 験				
資格名		平成 24年	平成 25年	平成 26年	資格名		平成 24年	平成 25年	平成 26年
電気工事士	第1種	11	25	17	実用英語検定	準2級	1	0	0
	第2種	27	18	16		3級	3	4	0
危険物取扱者	乙1類	4	5	2	リスニング英語検定	1級	23	0	0
	乙2類	5	2	7		2級	53	3	14
	乙3類	7	6	2		3級	65	22	25
	乙4類	12	20	8	計算技術検定	2級	2	5	0
	乙5類	4	3	4		3級	172	135	133
	乙6類	3	8	3	漢字能力検定	2級	3	1	0
2級土木施工管理技術検定		2	0	3		準2級	20	3	2
車両系建設機械 運転技能者	小型車両	18	23	11		3級	62	3	0
	フォークリフト	91	87	63		1級	1	0	0
	小型クレーン	44	16	24	情報技術検定	2級	19	35	17
	高所作業	27	15	13		3級	97	55	17
	締固用機械	22	17	6	実用数学検定	準2級	0	0	1
玉掛け		92	41	34		3級	0	0	0
工事担任者	A I 1種	1	0	0	基礎製図検定		44	24	43
	DD 1種	2	1	4	機械製図検定		48	44	16
	DD 3種	16	17	15	測量技術検定	1級	37	29	27
技能士	2級	0	2	1		2級	39	33	32
	3級	1	2	-	パソコン利用技術検定	2級	4	3	0
						3級	56	34	69

学校
近況

平成26年度 各種大会成績（東北大会以上）

全国大会

○カヌー部

・平成26年度全国高等学校総合体育大会

カヤックシングル200m 第4位 野地裕太

カヤックシングル500m 第4位 野地裕太

カヤックペア200m 予選敗退

渡辺亮太・渡辺俊太

カヤックペア500m 準決勝敗退

渡辺亮太・渡辺俊太

カヤックフォア200m 準決勝敗退

野地裕太・佐久間楓都

渡辺亮太・渡辺俊太

カヤックフォア500m 準決勝敗退

野地裕太・佐久間楓都

渡辺亮太・渡辺俊太

カナディアンシングル200m

予選敗退

齋藤 海

カナディアンシングル500m

準決勝敗退

齋藤 海

・文部科学大臣杯平成26年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会

カヤックシングル200m 第3位 野地裕太

カヤックシングル500m 第3位 野地裕太

・第10回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会

カヤックシングル500m 第17位（シニア）野地裕太

・第69回国民体育大会

カヤックシングル200m 第2位 野地裕太

カヤックシングル500m 優勝 野地裕太

○コンピュータ同好会

第35回全国高校生プログラミングコンテスト

第5位

米田啄也・津之浦葵・佐藤俊弘

長沢透也・渡辺勇暉

東北大会

○カヌー部

・平成26年度第17回東北高等学校カヌースプリント選手権大会

カヤックシングル500m 第3位 野地裕太

・国民体育大会東北ブロック大会兼第41回東北総合体育大会

カヤックシングル500m 優勝 野地裕太

カヤックペア500m 第4位 渡辺亮太・高橋将也

カナディアンシングル500m

第4位 齋藤 海

・第5回東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会

カナディアンシングル500m

第11位 齋藤潤輝

カヤックペア500m 第9位 渡辺亮太・渡辺俊太

○陸上競技部

・第69回東北高等学校体育大会

3000m障害 予選14位

鈴木 勝彦

○都市システム科

・高校生ものづくりコンテスト2014東北大会

測量部門 入賞 大内 香・小野田洸己

酒井翔一・菅野 遼

新会員のことは

三年三組 尾形 広昭

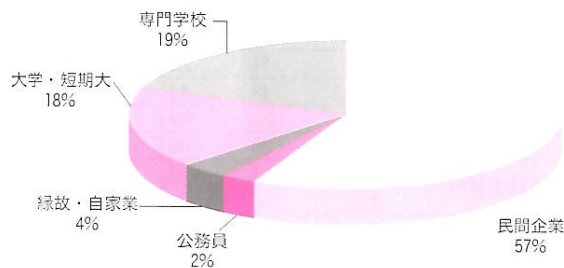
この度、我々一同、栄えある二本松工業高等学校の同窓会へ入会できることを心から嬉しく思います。

私達は入学して間もない時に先輩が築き上げてきた伝統と歴史を知り、改めてその偉大さを実感しました。そんな先輩方の功績に恥じないようこの三年間、「自立」「協調」「実践」の校訓を元に、多くの事を学んできました。勉強に部活動に常に全力で取り組み、また「資格の松工」の名を更に広めるべく資格取得にも力を注いできました。その甲斐あって数多くの国家資格を取得し、進路決定の際にとっても役に立ちました。その結果として本校初の国家公務員一般職試験（旧国家Ⅲ種）への内定者を含む、高い就職率を誇り、例年では類を見ない多くの大学進学者を出しました。ここまで私達が頑張ることができたのは先輩方の多方面でのご活躍が私達の目標となり、進むべき道が見つけられたからだと思えます。

卒業後、春からは同窓会の一員とさせていただきますが、まだまだ未熟者で迷うことも多々あると思いますので、皆様方の温かいご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

平成26年度 進路決定状況

(平成27年1月21日現在)



学科名	卒業 予定者	民間 企業	公務員	緑故・ 自家業	大学・ 短期大	専門学 校
機械システム科1組	33	22	2	1	2	6
機械システム科2組	35	18	1	0	9	7
情報システム科3組	34	20	1	1	6	6
情報システム科4組	31	17	0	2	5	7
都市システム科5組	32	17	0	2	7	6
合 計	165	94	4	6	29	32

就職 県内 (65社82名)	
株IHI相馬事業所	テクノメタル株
株アイソニープーズ	株テレイン東北
アートコーポレーション株	東間工業株
南吾妻プレス工業	東北江南株
株アフロサービス	株東北電設
株アマダオートメーションシステムズ福島工場	トヨタ工機株
アルス電子機器株	株ナルコ郡山
株アンド・パパ	日特エンジニアリング株
株イジマ東北事業所	株日ビス福島製造所
石橋建設工業株	二本松シール工業株
株一条工務店	株野地組
NECネットワークプラダクツ株	株ビッカルスコーポレーション
NOKエラストマー(株東北事業所)	福島エーアンドエープロイラー株
株尾形土建	福島軌道工業株
川名建設工業株	福島キヤノン株
川俣精機株	福島グラビア株
北芝電機株	福島サンケン株
協三工業株	株福島芝浦電子
株光大産業	福島ルビコン株
郡山ビューホテル株	株船生商会
コックビット福島布	北光金属株岩代工場
三栄アルミ工業株	株本多建設
三光化成株福島工場	前澤給装工業株福島工場
株サンライト	株まるいちフードセンター
三立上建株郡山支店	南丸忠建設工業
株CKF	みちのく安達農業協同組合
株下山電工	南電設株
株須南電設	三菱電機株コミュニケーション・ネットワーク製作所郡山工場
南スガタブロック	武藤建築
ソニーエナジー・デバイス株郡山事業所	南ムラマツ建築
株高電	株大和商会
高橋電機株	ヤマニ建設株
南力建設	

就職 県外 (16社16名)	
株アクティオ	
株アドプラス	
株エヌ・ティ・ティエムイー	
大崎建設株	
コスモシステム株	
齊藤技建	
山王テック株	
株ジェイデハイス	
西武鉄道株	
株セノン	
東京電力株	
東京美術紙工協業組合	
東北電力株	
日産自動車株	
東日本電気エンジニアリング株	
福島製鋼株 相模工場	

就職 公務員 (4名)	
福島県警察官	
自衛隊 一般曹候補生	
仙台国税局	

進学 大学 県内 (3校19名)	
奥羽大学 薬学部	
日本大学 工学部 土木工学科	
日本大学 工学部 建築学科	
日本大学 工学部 機械工学科	
日本大学 工学部 電気電子工学科	
日本大学 工学部 情報工学科	
福島学院大学 福祉学部 福祉心理学科	

進学 大学 県外 (4校4名)	
城西大学 経営学部 マネジメント総合学科	
東北工業大学 知能エレクトロニクス学科	
千葉工業大学 機械サイエンス学科	
武蔵野大学 経済学部 経営学科	

進学 短期大学 県内 (1校5名)	
福島学院大学 保育科第1部	
福島学院大学 情報ビジネス科	

進学 短期大学 県外 (1校1名)	
新潟工業短期大学 自動車工学科	

進学 専門学校 県内 (11校22名)	
県立テクノアカデミー会津	
県立テクノアカデミー郡山	
県立テクノアカデミー浜	
国際情報工科大学校	
郡山健康科学専門学校	
郡山情報ビジネス公務員専門学校	
国際ビューティ・ファッション専門学校	
国際メディカルテクノロジー専門学校	
日本調理技術専門学校	
セイセンビジネス公務員カレッジ	
福島県高等美容学院	

進学 専門学校 県外 (8校10名)	
仙台スイーツ&カフェ専門学校	
仙台デザイン専門学校	
仙台リゾート&スポーツ専門学校	
花壇自動車大学校	
東北電子専門学校	
トヨタ東京自動車大学校	
日本工学院八王子専門学校	
日本フラワーカレッジ	

同窓会 だより

■ 総会 報告 ■

平成二十六年年度総会は木田英男校長のご臨席を賜り、七月二十六日(土)パレスかねすいにて行われました。佐藤忠司会長あいさつでは生徒定数減による収入減や会の隆盛の協力依頼をお話いただきました。

校長先生には人間教育の趣旨、教職員への減、各激励金贈呈の御礼、くろがね祭の御礼などを含む近況報告をいただきました。

来賓として参加いただいた菅野吉三氏からもあいさついただきました。

議案については齋藤喜市氏を議長に指名し、スムーズに行われました。



二十五年度の事業報告、会計報告、二十六年度の事業計画、予算書は下記の通りに可決されました。

その他、今年度は役員改選の年度に当たり選考委員会より提案された名簿により会長をはじめ新しく七ポストが入れ替わりました。新会長は副会長を長くなさっていたいた機械科一期生の秋山孝雄氏です。総会後の懇親会では二十五名の参加者があり、盛大に親睦を深め、有意義な時間を過ごすことができました。

新会長の下に新たに結束を誓い盛大なうちに終わることが出来ました。

■ 平成26・27年度役員 ■

役 職	氏 名	卒業年度	科
会 長	秋 山 孝 雄	S39	機 械
副 会 長	丹 治 保 夫	S40	機 械
〃	渡 邊 正 人	S41	土 木
〃	大 内 清 義	S44	電 気
〃	菊 地 清 義	S44	電 気
〃	熊 谷 勝 則	S49	土 木
会 計 監 事	高 橋 博 徳	S49	機 械
〃	山 川 新 栄	S55	土 木
〃	鈴 木 源 平	S57	機 械
〃	小 沢 周 平	S60	土 木
理 事・事務局次長	高 橋 周 平	H 5	電 子
理 事	齋 藤 喜 市	S41	土 木
〃	大 内 庄 五郎	S41	電 子
〃	星 光 一	S42	機 械
〃	阿 部 昭 一	S42	土 木
〃	安 斎 邦 衛	S42	土 木
〃	野 地 一 司	S44	機 械
〃	尾 形 巳 芳	S47	電 気
〃	本 田 正 秋	S47	土 木
〃	星 盛 彰	S48	土 木
〃	鶴 原 正 一	S49	機 械
〃	橋 本 道 夫	S51	土 木
〃	高 橋 道 夫	S53	機 械
〃	安 斎 邦 衛	S54	機 械
〃	清 水 実 栄	S57	電 子
〃	尾 形 浩 美	S58	機 械
〃	加 藤 高 洋	S59	土 木
〃	金 子 智 弘	S60	土 木
〃	朝 倉 雅 也	H 6	土 木
〃	二階堂 卓 也	H12	機 械
〃	菅 野 健 太	H12	機 械

職 名	氏 名	備 考
初代会長	鈴 木 清 治	
二代会長	阿 部 利 和	
三代会長	佐 藤 昭 次	
四代会長	菅 野 吉 三	
五代会長	佐 藤 忠 司	
学 校 長	木 田 英 男	

選考委員会	氏 名	卒業年度	科	備 考
委 員 長	丹 治 雄 雄	S40	機 械	副会長
副委員長	菊 地 清 義	S44	電 気	副会長
委 員	高 橋 周 平	H 5	電 子	理事・事務局次長
〃	星 光 一	S42	機 械	理事
〃	安 斎 邦 衛	S54	機 械	理事
〃	小 形 義 元	S48	土 木	事務局

会報委員会	氏 名	卒業年度	科	備 考
委員長	大 正 市	S44	電 気	副会長
副委員長	齊 藤 喜 市	S41	土 木	理事
委 員	本 田 正 一	S47	土 木	理事
〃	橋 本 正 一	S51	土 木	理事
〃	高 橋 道 夫	S53	機 械	理事
〃	菅 野 健 太	H12	機 械	理事
〃	佐 藤 孝 則	H 5	電 気	事務局

事 務 局	氏 名	卒業年度	科	備 考
事務局次長	甲 賀 豊 光	H 5	電 子	都市システム科
事務局次長	高 橋 周 平	H 5	電 子	理事
〃	佐 藤 孝 則	H 5	電 気	情報システム科
事務局員	小 形 義 元	S48	土 木	都市システム科
〃	高 橋 良 行			都市システム科

■ 平成25年度同窓会決算書 ■

収入の部 合計 1,447,772 円

科 目	25年度予算額	25年度決算額	増減額	備 考
会 費	785,000	765,000	△20,000	153人×5,000円
入 会 金	320,000	284,000	△36,000	新入生160人、退会18人
雑 収 入	25	67	42	預金利息等
繰 越 金	398,705	398,705	0	
計	1,503,730	1,447,772	△55,958	

支出の部 合計 1,252,912 円

科 目	25年度予算額	25年度決算額	残 額	備 考
会 議 費	240,000	163,435	76,565	役員会、同窓会総会、その他
行 事 費	25,000	20,922	4,078	入会式
通 信 費	30,000	32,000	0	ハガキ、切手
会 報 費	170,000	140,070	29,930	会報第13号発行
慶 弔 費	30,000	10,000	20,000	香典、その他
記念品費	160,000	135,786	24,214	卒業記念品
後 援 費	400,000	348,125	51,875	激励金、新聞広告、くろがね祭後援
事業費	240,000	239,269	731	会報発送費用
事業積立金	0	0	0	
事 務 費	180,000	163,305	16,695	データ管理費、事務用品等
予 備 費	28,730	0	28,730	
計	1,503,730	1,252,912	250,818	

残額 194,860 円



カヌー部（第17回東北高校カヌースプリント選手権大会）
陸上部（東北高等学校体育大会）



カヌー部（第5回東北高校新人カヌースプリント選手権大会）
都市システム科（高校生ものづくりコンテスト2014東北大会）



カヌー部（第69回国民体育大会カヌー競技）



コンピュータ同好会
（第35回全国高校生プログラミングコンテスト）



創立 50 周年記念碑



創立 40 周年記念碑



創立 20 周年記念碑

福島県立二本松工業高等学校

創立 30 周年記念
銅板による校章と学校名

事務局 佐藤孝則

菅野健太

橋本正一、高橋道夫

委員 齋藤喜市、本田 正

会報委員長 大内正人

事務局まで連絡ください。
なお、当会報が必要な方は、
会報委員会の多様な展開の発信、会
員の寄稿掲載など、同窓会の活
性化を図ることが目的です。会
員皆さんの知恵を拝借致した
く、よろしくお願ひ致します。

会報委員会では、身近に親
しめ、より楽しい紙面づくり
を求め活発な意見交換を進める
こととしました。本校のHPを
活用し、会報の自由閲覧、同窓
会事業の多様な展開の発信、会
員の寄稿掲載など、同窓会の活
性化を図ることが目的です。会
員皆さんの知恵を拝借致した
く、よろしくお願ひ致します。

昨年十二月、母校において第
十四号会報委員会を開きまし
た。記事構成の大枠等を決め、
先月五日最終確認を行い、い
よいよ発行となりました。木田校
長先生、秋山新会長の熱いメッ
セージ、そして若者達が躍動す
る在校生情報等、盛り沢山の紙
面でお届け致します。

編集後記